

11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です。

抗菌薬が効かない「薬剤耐性(AMR)」が拡大しています。乳幼児や高齢者、持病がある人など、免疫力の弱い人が特に危険です。正しい対応を知っておきましょう。「あなたのリスク ほどよいクスリ」

<薬剤耐性(AMR)とは>

細菌が原因で引き起こされる病気に有効なのが、原因となる細菌を殺したり、その増殖を抑制したりする働きを持つ「抗菌薬」です。しかし、1980年以降、従来の抗菌薬が効かない細菌「耐性菌」が増えてきました。

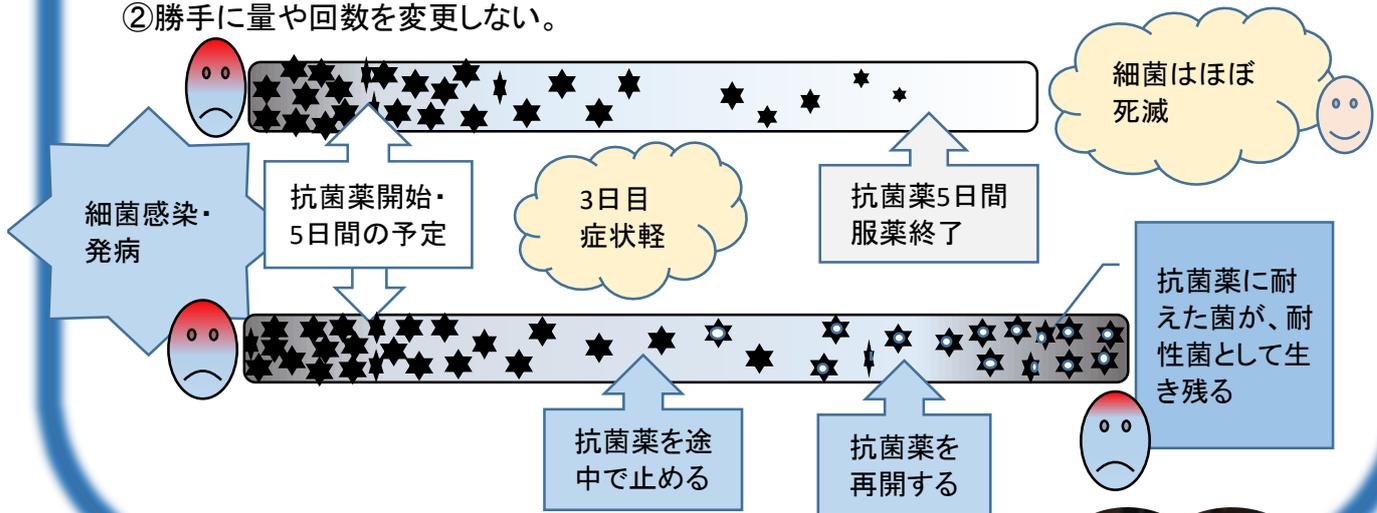
耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなることから、これまで、感染・発症しても適切に治療すれば軽症で回復できた感染症が、治療し難くなってきます。特に、免疫力の弱い乳幼児や妊婦・高齢者・持病を持つ人は、感染症にかかると重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

薬剤耐性(AMR)の拡大防止は、私達にとって非常に重要な事なのです。

<薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐために>

抗菌薬は、医師や薬剤師の指示を守って使いましょう。変えたいときは、必ず医師に相談を！

- ①勝手に途中でやめない
- ②勝手に量や回数を変更しない。



☆ ご予約・お問い合わせ ☆
 いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
 住所:兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
 TEL:079-490-2064(専用電話)
 FAX:079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。

編集: 浅原